



# 言葉のかけはし

やさしい地域づくりから地球全体へ

有限会社 林商店  
副社長 林 紀孝 様

弊社は南砺市でリサイクル業を営んでいます。創業は昭和30年代後半で半世紀以上にわたり街を美しくする仕事に携わっています。昨年より南砺市の2つの作業所にペットボトルの選別作業をやって頂いています。非常に地味な作業で精神的にも肉体的にもきつい仕事なのですが、質の高い仕事ぶりに感服しています。

リサイクルをする上で、「分別・選別」非常に大切なので、きれいに選別されたものは、その分価値も高くなります。作業所の皆様には「地球環境を保護し未来へ受け渡す仕事をやっている！」という誇りと自信をもってほしいと願います。

この南砺市内には多くの企業があります。障害者の方のことを思い、「やさしい地域づくり」の気持ちを持ってほしいです。まずは知ることから始まると思いますし何よりも行動に移すことが大切であり、他人事に捉えなければまだまだできることはあるはず。障害者を理解し、地球全体で受け入れることができるようにいっそうの支援の輪を広げていきたいと思っています。

## らぶあけぼの 初夏の行楽 5月23日 のとしま水族館・能登食彩市場

今年はなんとか雨にたたられることなく過ごすことができました。水族館ではジンベイザメの迫力ある泳ぎを間近に観ることができ感動しました。食彩市場では、刺身が一番おいしかったというのが皆さんの感想でした。曇り空だったとは言え、利用者の皆さんのうれしそうな笑顔で職員一同の疲れも吹っ飛び一日になりました。



## エルハート城端 親子研修一泊旅行 6月15日・16日 新幹線で長野へ

新幹線に乗り、長野の善光寺へそしてさくらんぼ狩りと小布施の散策を楽しみました。さくらんぼ狩りでは、男性陣はここぞとばかりに高い所になっているさくらんぼをみんなに取ってあげたりして満足気でした。女性陣は「こっち！あっち！」と言いながら、たくさんのさくらんぼに大興奮でした。



## メイプル福野 春のおでかけ 4月11日 富山中央植物園、四季防災館

富山中央植物園では、園内を散策しながら桜の観賞をしました。また、温室の植物も楽しみました。四季防災館では、地震・煙・暴風体験をし、災害の怖さを勉強してきました。

お出かけ楽しかったです。



## 福祉作業所 庄川 すてきなプレゼント

利用者の一人が「職員にプレゼント」と照れながら渡してくれました。なかを開けると、職員一人ひとりの似顔絵と名前が入ったプレート！！職員大、大、感激でした。入り口のドアに張り、表札として活躍中です。もし希望がありましたら、相談のりま一す。



### 編集後記

もうすっかり夏ですね。夏といえば、イベントが盛り沢山(\*\*)、みんなが楽しめる夏祭り！8/3(金)は恒例の「あけぼの&めるへん夏まつり」が開催されます。沢山の模擬店や催し物を準備しています。是非、皆さん遊びに来てね。(吉野)

# 広報



# となみ野

通誌  
第20号  
平成30年7月  
発行

社会福祉法人手をつなぐとなみ野 〒932-0833 小矢部市綾子 5598 番地 TEL・FAX (0766) 68-3822  
e-mail: tonamino@bz03.plala.or.jp http://www.tonamino.or.jp/

## 法人としての展望 ～向き合い・受入れ・寄り添う支援～

理事長 尾崎 順子



「共に生き、共に働き、共に暮らし、共生社会の実現を目指す」は、(福)手をつなぐとなみ野の基本理念です。まだ「共生社会」という言葉もない昭和60年代に、砺波地域の知的障害者の親の会(手をつなぐ育成会)が、無認可の作業所を立ち上げて、障害のある人もない人も生まれ育った地域で支え合いながら共に暮らせる社会の実現を目指した頃からの理念です。

社会福祉法人としてスタートして15年目を迎えた今、「共に生きる」意味を改めて考えてみたいと思います。誰と誰が、どのようにして共に生きるのか、そのためには何が必要か、何をなすべきか、私たちはどこまでこの理念に沿った事業を展開し、利用者支援ができてきているのか。法人設立当初の熱い思い、障害者自立支援法の施行のもと、「福祉サービス事業所」としてスタートした時の意気込みを忘れていないだろうか。

節目の今こそ原点に立ち返り、利用者本位の作業所・グループホームの運営に邁進していかなければならないと思います。利用者は「～してあげる」存在、「指示に従うべき」存在として、支援者目線(上から目線)で観ていないだろうか、支援者一人一人が自らを省みる機会だと考えます。利用者のストレングス(強み)を引き出し、自己決定を尊重しつつ意義ある人生を共に歩む姿勢を持ち続けたいものです。

私たちはプロです。様々な問題、不安、悩みを抱えた障害をもつ人たちの支援のプロなのです。まずは、一人一人の利用者としてしっかり向き合い、受入れ、寄り添いながら「共に生きる」を実践していかなければなりません。また、権利擁護の視点からは、障害者虐待防止法、障害者差別解消法等の法令を身内(障害者および家族・支援者)だけのものとせず、広く社会全般に理解・浸透させていくことも私たちの責務と考えます。

さて、法人設立以来、地域・利用者の多様なニーズ、そして、利用者や保護者の思いに寄り添いながら作業所・グループホームの整備、支援学校児童の放課後預かり、相談支援センター等の整備を進めて参りました。近年、入所施設の地域移行に伴う地域事業所の増加とA型事業所急増により、利用者の選択肢は拡大しました。が、しかし、当法人にとっては利用者の減少傾向を招きました。また、利用者の高齢化も進みつつあります。

魅力的な作業所運営、利用者の生活を保障すべく作業工賃UPに向けた取組、高齢化しつつある利用者への支援、さらには、親亡き後の支援を含めた包括的な将来展望、言わば、「手をつなぐとなみ野未来創造図」の構築に向け早急に取り組んでいきたいと考えています。この地域の現状と地域資源を把握しつつ、障害をもった人たちが生まれ育った地域で生き生きと暮らし続ける「共生社会」の実現に向けて努力を惜しまない所存です。

当法人は、利用者の幸せを実現したいという親の願いから出発した法人であることを肝に銘じて進んでいきたいと思っています。

## テレビ ありがとうございます！ パナソニック労働組合様より



6月28日、福祉作業所あけぼの第二では、パナソニック・タワーჯズ セミコンダクターの労働組合砺波支部様よりハイビジョンテレビをいただきました。とても大きな画面で画像もきれいなテレビに利用者一同大喜びです。

組合員さんのご厚意に感謝し大切に使用させていただきます。





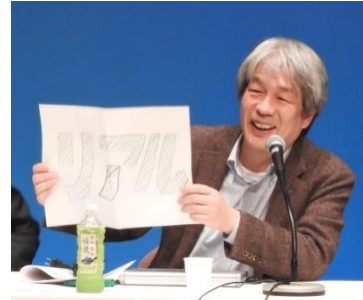
## 福祉フォーラム開催！



3月25日(日)「津久井やまゆり園事件を風化させない」ようにするには、どうしたらよいかという大きなテーマでフォーラムを行いました。

全日本手をつなぐ育成会連合会会長の久保厚子氏の基調講演に始まり、後半では、富山国際大の村上先生をコーディネーターにお迎えして、パネルディスカッションを行いました。弁護士の関哉先生、新聞記者の野沢先生、保護者として穴田先生の各氏がそれぞれの立場から意見を述べられました。214名が集まりました。根強く残る差別が一挙に噴出したようなやまゆり事件につて、保護者として、支援者としての在り方も私たちに問いかけるものでした。

無理解から起こる偏見や差別をなくしていくためには、利用者がもっとも地域社会に出て、見てもらって、ふれ合ってもらわなければならないでしょう。



また、利用者が好きなことや得意なことを見つけて、伸ばしながら生きがいのある生活を提供することが大事な使命だと思いました。

さらに、私たちの今後の活動や取組が津久井やまゆり園のような事件を繰り返させるか、それとも障害者に対する偏見や差別がない「共生社会」を作り出せるかを左右するということなのです。状況を変えていくには、まず親が「我が子を守るのは自分である」という自覚の下、率先して立ち向かっていかなくてはならないということが分かりました。そして、その第一歩は、地域の方々に我が子を知ってもらうことで、それには、一緒にゴミ出しに行くなど小さなことから始めましょう。



## キャラバン隊 「ぱすてる」発足！～みんなちがってみんないい～



手をつなぐとなみ野の職員が中心となって、富山県で初めての理解・啓発活動として、「キャラバン隊 ぱすてる」が発足しました。

3月25日のフォーラムで旗揚げ公演を披露し、6月3日の県育成会大会で2回目の公演を行いました。数分の寸劇ですが、障害者のことを知らない周囲の戸惑いや誤解が、きちんと教えたり、障害の特質を知ることによって、障壁をなくして仲良く活動できるという内容です。

活動の輪を広げるために、アイデアを出しながら楽しく共に活動する方を募集しています。本部までご連絡ください。興味のある保護者大歓迎です。



## 作業所交流会



5月30日に砺波青少年自然の家にて作業所交流会を開催しました。利用者・職員あわせて総勢170名が集い、鳴子の色塗りとレクリエーションに挑戦しました。

鳴子の色塗りでは、マジックで好きな絵を描いたりマスキングテープを使ったりしてオリジナルの鳴子に仕上げました。

レクリエーションでは、他の作業所の利用者と交流を図りながら、体を動かしさわやかな汗を流しました。最後には、自分で制作したオリジナル鳴子でヨサコイを踊り、みんなで盛り上がりました。



新しい友達もできました。楽しかったです。



ぼくは作業所交流会が大好きでした。きんしたけと踊りました。



同級生とわだこいに教えてうれしかったです。



## ◆◆いろいろなことに取り組んでいます◆◆

砺波事業所 南天桐 ねんりんピック 花紙制作中！

あけぼの第二 アルミ缶回収作業



11月4日(日)・5日(月)に富山県西部体育センターで開催される「ねんりんピック富山2018剣道交流大会」に全国から参加される選手の皆さんを歓迎・応援するために砺波事業所では、都道府県・政令指定都市ごとに特産品や名所を描いた「オリジナル花紙」を一生懸命に制作中です。

砺波らしい、魅力にあふれ、喜びと感動に満ちた元気な大会になるよう盛り上げていきたいです。

地域から協力頂いて回収してきたアルミ缶を種類毎に分け、洗ってつぶしています。新しく倉庫も建ったので、よりいっそう頑張っています。

昨年より回収先のコンビニも増えたことで、大量の回収ができるようになりました。倉庫ができたことで、外にあふれていたアルミ缶を入れることができ、環境整備にもつながりました。

回収先の店員さんとも顔なじみになってきたため、あいさつの声を多くかけてもらえるようになりました。

